

平成24年度  
実施事業

事務事業名 図書館内部改修工事

区分	No	名称					
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち					
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる					
施策	1	市民の主体的な学習の推進					
小分類	2	生涯学習環境の充実					
主要な施策	3	③図書館機能の充実					
事務事業番号	014	事業開始年度	平成 24 年度	事業終了年度	平成 ー 年度	会計種別	一般会計

部 名 教育部      グループ名 図書館

事務事業の概要 《Plan・Do》

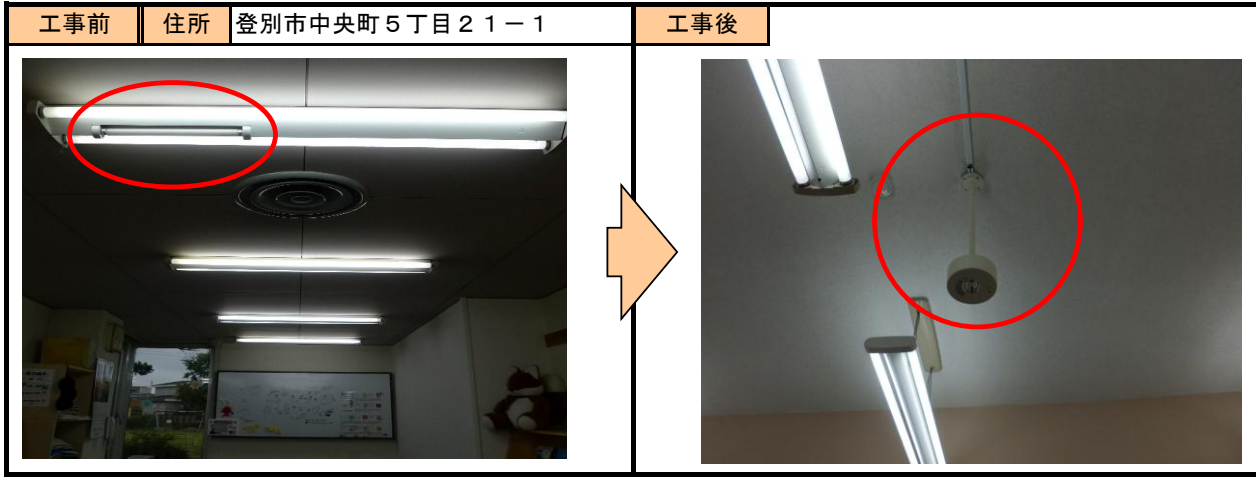
目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	図書館を、誰もが安心してより快適に利用できる施設とするため、非常灯の改修をはじめとして、老朽化した設備やバリアフリー対応の改修を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	非常灯の改修 693,000円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	非常灯の改修は平成24年度に終了した。 それ以外の改修については、地域情報センターの活用と合わせて検討していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	693	0	0	0
事業費 合計			0	693	0	0	0

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 非常灯の設置箇所数	箇所	目標値	0	30	0	0	0
			実績値	0	30			
	②		目標値					
			実績値					



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について	
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している
	判断理由及びその他所見 市立図書館の内部改修工事である。
2. 事務事業の必要性について	
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い
	判断理由及びその他所見 非常灯改修は、図書館利用者の安全確保のため必ず実施しなければならない。また、建築基準法による設置義務がある。
3. 事務事業の効率性について	
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input checked="" type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる
	判断理由及びその他所見 非常灯改修は、図書館利用者の安全確保のため必ず実施しなければならない。また、建築基準法による設置義務がある。
4. 事務事業の成果について	
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input checked="" type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である
	判断理由及びその他所見 非常灯改修により、図書館利用者の安全確保が図られることとなった。

①担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） 非常灯の改修は平成24年度に終了した。それ以外の改修については、地域情報センターの活用と合わせて検討していく。
-----------	---

②行政評価会議による評価

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）